

回遊と滞留空間の分離による魅力あるまちづくり

主催：秋葉原電気街振興会

1.活動の狙い

狙い①

歩道利用者の安全確保

狙い②

来街者のくつろぎ場所確保

多くの来街者いるが、
人々が滞留するための
空間が存在しない。



歩道空間の混雑や
来街者の休憩場所不足
といった課題が発生。

空間分離対策

歩道利用者の安全確保

来店者のくつろぎ場所確保

歩道上滞留客

待機場所案内

歩道をベンチが設置
された休憩場所として、
歩行者を誘導する。



歩道利用者の安全確保、
来街者のくつろぎ場所
確保を目指す。

オノデンーラオックス店舗前周辺 5/13 11時頃



歩道空間で混雑が発生

ラオックス

オノデン



くつろぎ空間創出

2.どんな活動を行ったか

実施場所

ラオックス秋葉原本店と
オノデンの間の区道

実施期間

2025年10月5日、12日
13～17時(歩行者天国実施中)

活動内容

道路空間に滞留の場を設置
滞留空間周知用のぼり旗を設置
分別可能なゴミ箱を設置



実施場所周辺地図



滞留空間(ベンチの設置)



滞留空間(入口付近)



入口付近での誘導



のぼり旗の設置



分別可能なゴミ箱の設置

3.活動の成果

成果①

歩行空間と滞留空間の分離により、歩道の混雑が緩和された。

成果②

設置した休息スペースが多くの人々に利用された。

成果③

関係する多くの団体の協力を通して、街での連携が深められた。

活動実施期間外



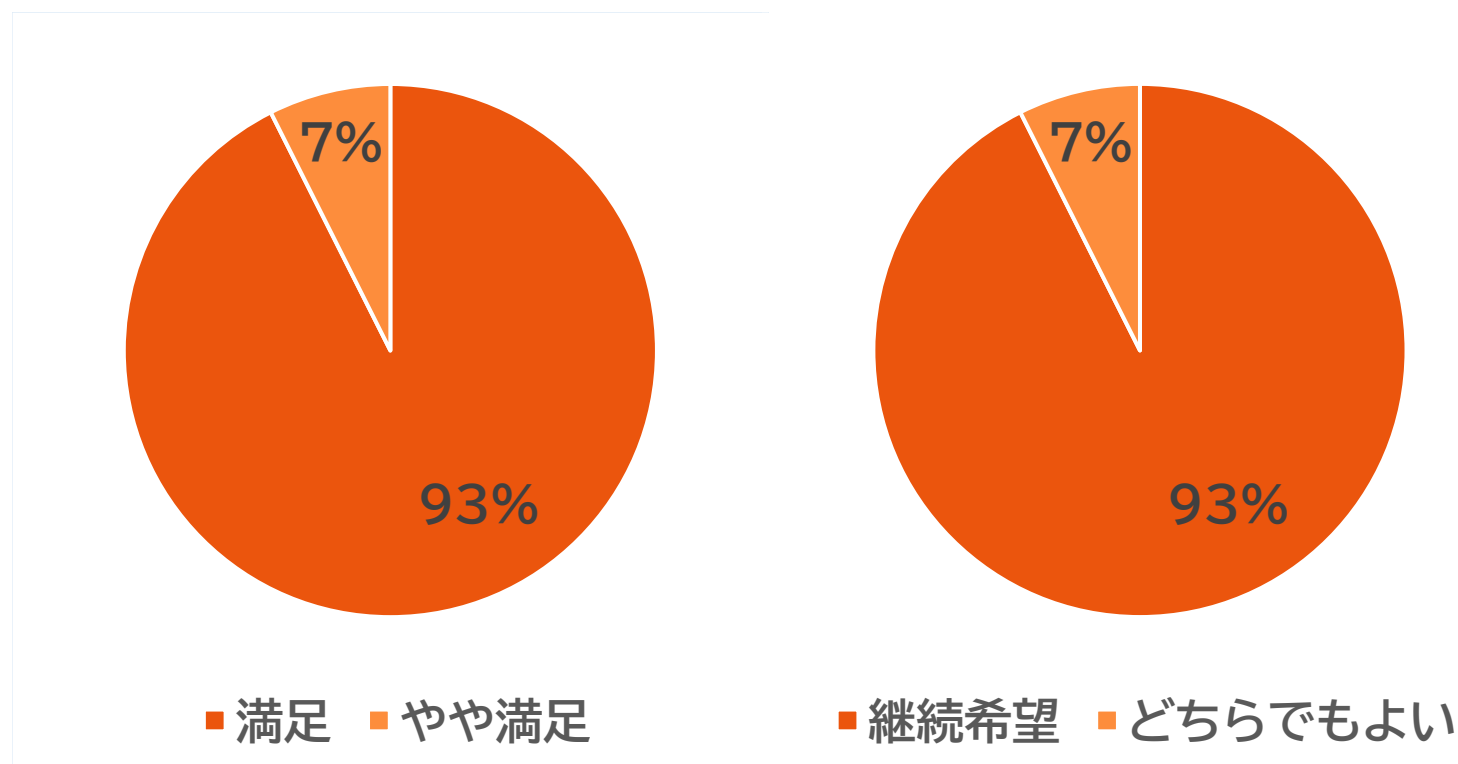
活動実施中



活動実施期間中に、
歩道上の混雑が緩和された

4.これからの展開

アンケートより、9割以上が本取組に満足し、継続的な活動を望んでいることが分かった。継続的にエリアを広げたり、開催時間を伸ばすなど、気持ちの良い環境街づくりをめざして、活動を進めていく。



アンケート結果

秋葉原ウォーカブルの推進

令和8年4月13日

秋葉原タウンマネジメント株式会社

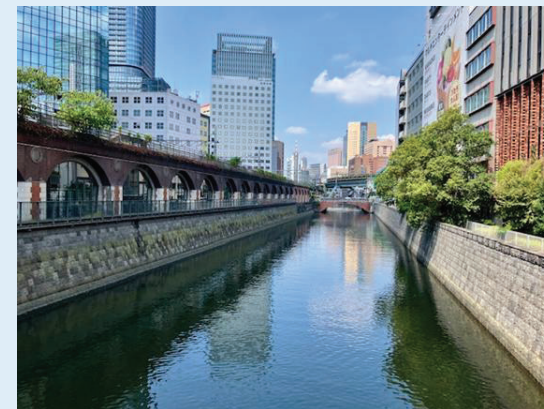
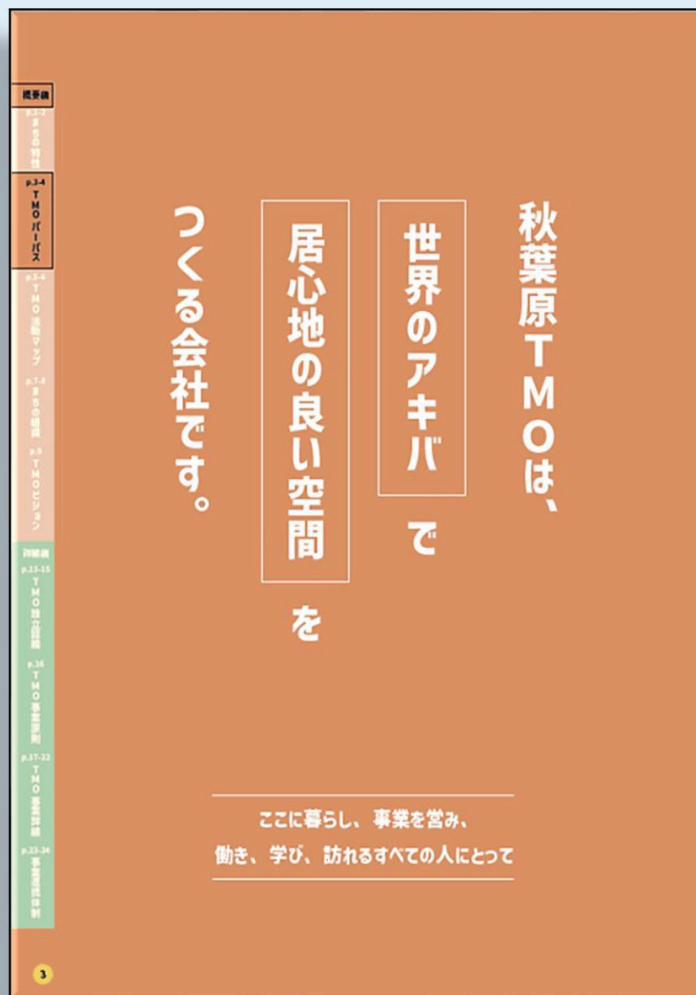


1. 秋葉原タウンマネジメント株式会社 （設立：平成19年 資本金：6,490万円 年商:8,600万円）

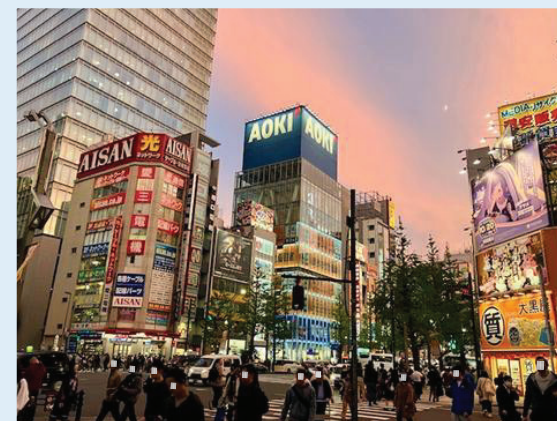
企業理念： 秋葉原地域の活性化のために公益性のある事業を展開するまちづくり会社として、地域の公器となること。（定款 第2条）



都市再生整備計画推進法人



しゃれた街並みづくり推進条例 登録団体



2. 秋葉原タウンマネジメント株式会社「エリアマネジメント事業」



3. 新たな事業領域へ ～秋葉原ウォーカブルビジョン～

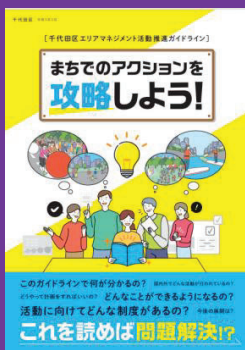
【2022年】千代田区
ウォーカブルまちづくり
デザイン



【2022年】
秋葉原ウォーカブル基礎調査



【2023年】千代田区
エリアマネジメント
活動推進ガイドライン



【2023年】
プレイス・ワークショップ秋葉原



【2024年11月】
マーケットストリート社会実験
秋葉原ジャンク通り



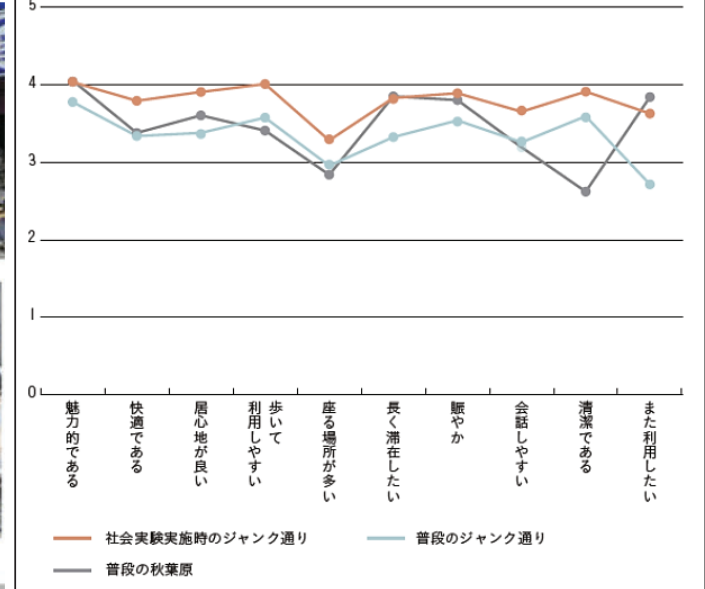
【2025年】
秋葉原ウォーカブルビジョン発行



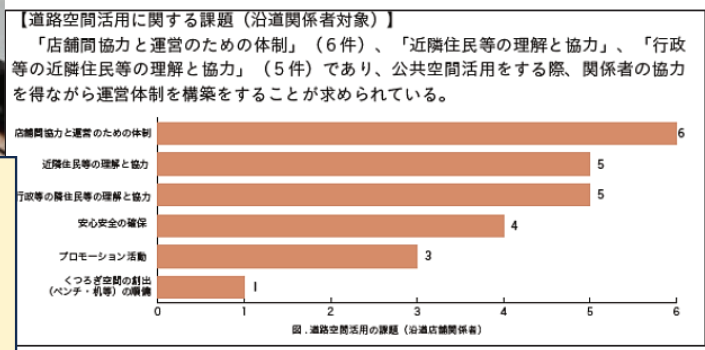
日本大学都市計画研究室(泉山ゼミ)、一般社団法人ソトノバ、秋葉原タウンマネジメント(株)

【マーケットストリート社会実験 2024 in 秋葉原ジャンク通り】

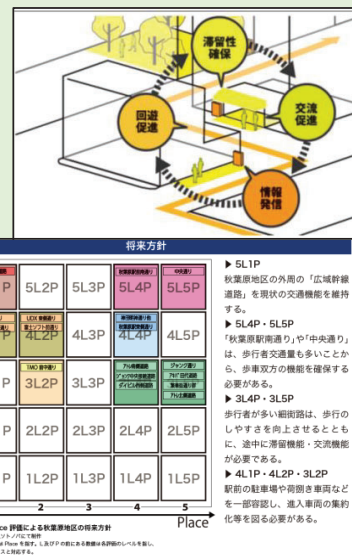
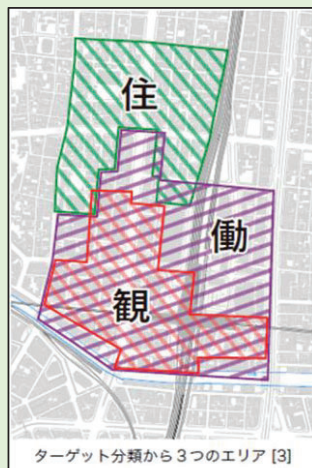
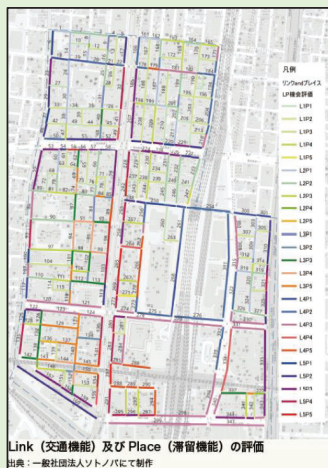
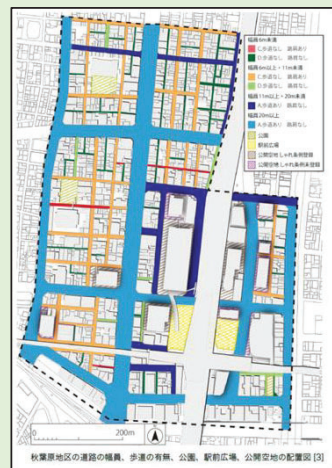
土日を含む4日間、一般車交通規制による歩行者空間化を実施し、沿道店舗と協力し道路空間の新たな活用と可能性を探る



- 【調査】
- ・交通量：(周辺部含む)歩行者通行量、時間帯別車両通行量、駐停車車両数、路上駐車車両数
 - ・アクティビティ・スキャン：周辺における歩行者の滞留行動・場所・時間、
 - ・利用者、沿道店舗アンケート
 - ・インスピレーションボード(公開空地での秋葉原ウォーカブルビジョンの意識調査)

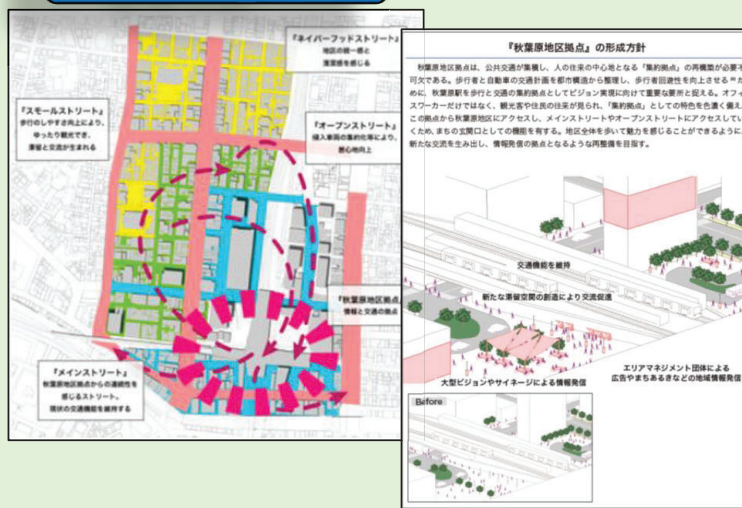
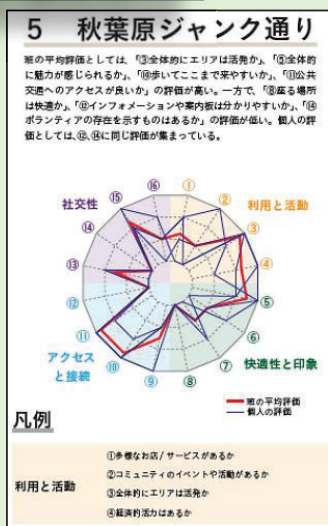
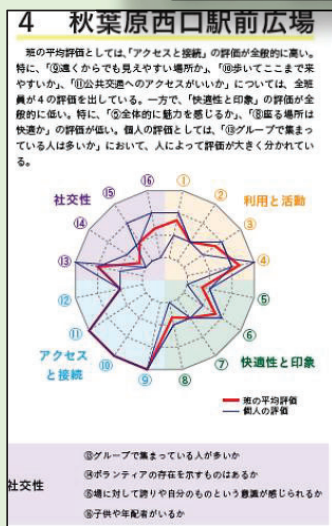


4. 秋葉原ウォーカブルビジョンの構成



現状と課題、潜在力

全体方針



プロジェクト(戦略)

全体方針で定める「アキバに出来る、アキバと歩む。」を達成するため、次に挙げる28のプロジェクトを戦略的に展開する。

ウォーカブルに資する施策	ターゲット	方針種別	時期
1 地域交流を促進するイベントの実施	住民	交流	短期
2 教育施設等との連携による緑化管理・整備	住民	交流	短期
3 店舗の参みだし	観光客	交流	短期
4 商店街連携による路上イベント等の実施	観光客	交流	短期
5 既存施設を活用したコモンズ形成	住民	交流	短期
6 デジタルサイネージの整備	観光客	交流	短期
7 大型ビジョンの整備	観光客	交流	短期
8 公民連携によるパブリックスペースマネジメント	観光客	交流	短期
9 街の案内所・インフォメーション拠点の整備	観光客	交流	短期
10 エリアマネジメント広告の推進	観光客	交流	短期
11 1階店舗等の透明化・高質化整備	観光客	交流	短期
12 屋外照明の設置	住民	交流	短期
13 回遊を促すサイン計画	住民	交流	短期
14 路上・公園等の安全・公衆衛生上の管理運営	住民	交流	短期
15 歩きやすさに配慮した道路舗装・工作物の再整備	住民	交通	短期
16 時間帯一般車規制	観光客	交通	短期
17 ストリートテラスの実施・協定整備	観光客	交通	短期
18 緑地の再整備・再計画による滞留空間・木陰の創出	住民	交通	短期
19 シームレスデザインによる歩行空間の拡張	住民	交通	短期
20 歩行者専用区間(歩行者天国等)の実現	観光客	交通	短期
21 再開発と併せた一体的な滞留・交流空間創出	観光客	交通	短期
22 緑水空間の整備	住民	交通	短期
23 公開空地での滞留活動の創出	住民	交通	短期
24 路上滞留スポットの整備	住民	交通	短期
25 日陰を創出する屋根空間の整備	住民	交通	短期
26 駐車場の適正配置計画	住民	交通	短期
27 インナー・フリンジパーキングの検討	観光客	交通	短期
28 駐車場地域ルールの検討	住民	交通	短期



ご清聴をいただきありがとうございました。
ご一緒に千代田区のウォークブルを推進していきましょう！



日本大学都市計画研究室(泉山ゼミ)、一般社団法人ソトノバ、秋葉原タウンマネジメント(株)

秋葉原タウンマネジメント株式会社